※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０２４

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	「探求　論理国語」　（桐原書店）						
副教材等	入試頻出漢字＋現代文重要語彙 TOP2500（いいずな出版） 新版三訂ニューエイジ現代文　達成２＋（第一学習社） 評論　速読トレーニング（数研出版） 近現代文学コレクション（第一学習社） 新訂版　最新国語便覧（浜島書店） 読み・書き・覚える　新版　日本文学史必携（教育図書出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本文を何度も読みかえし、同時に新たに知った語句を辞書で調べることで、語彙力をつけながら、内容の理解ができるようにしましょう。授業では、読解をするためのポイントを実際に行い、内容をとらえたり、それに対する自分の意見・感想を文章化して整理したりすることを求めます。定期考査、課題の提出状況、小テストの成績、授業への取り組み、学習意欲等を総合的に判断して評価します。

2　学習の到達目標

・読書する習慣をもつとともに、新たな語句を身に着け、漢字・語彙の力を高める。
・国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。
・思考力や想像力を伸ばし、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。
・読解力，表現力，論理的思考力を育成し，豊かな言語感覚を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	1　つながりの中で ［教材］チンパンジーは「おせっかい」をしない	a：実験の結果と分析を区別し、推論の仕方を理解している。 b[読]：事実と意見との論理的なつながりを理解し、要旨をまとめることができる c：要旨に沿った自分の考えをまとめることができる	定期テスト・ワークシート	定期テスト・ワークシート	観察・ワークシート
	2　対比構造に着目する ［教材］集落の創造	a：差異性と同質性に着目し、対比構造を確認できる b[書く]：対比構造で社会的な問題をとらえ、文章にできる。 c：社会的な問題に関心を持ち、意見文を書くことができる。	定期テスト・ワークシート	定期テスト・ワークシート	観察・ワークシート
	3　言語の可能性 ［教材］動物の信号と人間の言語	a：信号と言語の違いについて理解できている b[読]：言語と創造性の関連性について理解し、実例を用いて説明できる c：言語の可能性について調べ、まとめることができる	定期テスト・ワークシート	定期テスト・ワークシート	観察・ワークシート
	4　文学と人間 ［教材］　変身に伴う快楽と恐れ	a：「変身」に託された人の情動を理解できる b[話す]：文学作品による「変身」の意味の違いをまとめ、伝えることができる c：文学作品の象徴性について発展的に考えることができる	定期テスト・ワークシート	定期テスト・ワークシート	観察・ワークシート
	5　環境に寄り添う営み ［教材］木を伐る人/植える人	a：具体例はどういうことを述べるための物なのかを理解できる b[読]：自然と人間の関係について筆者の考えを理解し、自らの意見を構築できる c：現代は自然と人間の営みとをどう折り合いをつけようとしているのかを考えることができる	定期テスト・ワークシート	定期テスト・ワークシート	観察・ワークシート
	6　接続表現に着目する ［教材］「物語」としての伝統	a：適切な接続表現を理解し、使うことができる b[書]：根拠を明らかにし接続表現に注意しながら見解を書くことができる c：他者の見解に対し根拠を持った意見をのべることができる	定期テスト・ワークシート	定期テスト・ワークシート	観察・ワークシート
後期	7　キーフレーズに着目する ［教材］現実・相貌・物語	a：「物語」というキーフレーズが何を意味するのかを理解できる b[読]：キーフレーズと取り上げられた具体例がどのような関係にあるかを理解できる。 c：キーフレーズの意味に注目して要約できる	定期テスト・ワークシート	定期テスト・ワークシート	観察・ワークシート
	8　テクノロジーの開く世界 ［教材］芸術も科学も「別世界」を見せる	a：比喩表現の効果について理解できる b[読]：比較対象の共通性と差異性について理解できる c：人間に取って芸術とは何かを考え根拠とともに説明できる	定期テスト・ワークシート	定期テスト・ワークシート	観察・ワークシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

後期	9 境界をこえて ［教材］見えぬものを見るということ	a：逆説的な表現の意図を理解する b[書]：文学の可能性についての筆者の見解を理解し、レポートに作成する c：文学と他のメディアとの関連性についてまとめることができる	定期テスト・ワークシート	定期テスト・ワークシート	観察・ワークシート
	10 文学と人間 ［教材］淋しい人間	a：近代における「個人」の在り方を前近代と比較して理解することができる b[読]：筆者の言う「淋しい」とはどのようなことかを理解し説明できる c：「こころ」を読み、「淋しさ」について自分の見解をまとめることができる	定期テスト・ワークシート	定期テスト・ワークシート	観察・ワークシート
	11 共同体から市民社会へ ［教材］「であることと「する」こと	a：「である」(be)と「する」(do)の違いを理解することができる b[書]：現代の社会状況を「である」と「する」の観点から分析し考えを書く c：社会状況の改善策をまとめることができる	定期テスト・ワークシート	定期テスト・ワークシート	観察・ワークシート
	12 実社会との接点 ［教材］キャラクターの身体、自動車の身体	a：身体と知能の関係について理解できる b[話]：自動運転車のさまざまな段階における利点と課題について考察しスピーチすることができる c：知能と身体の関係性について自分の考えをまとめることができる	定期テスト・ワークシート	定期テスト・ワークシート	観 察・ワークシート

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間
・書くこと　…　（　２５　）時間
・読むこと　…　（　４５　）時間